

臨床検査値の読み方

梁鍼灸治療院
梁 茂寛

検査項目の解説

（一般的な検査項目の解説）

臨床検査のいろいろ

生化学的検査

血液学的検査

免疫学的検査

細菌学的検査

一般検査

病理学的検査

生理学的検査

肝・胆道系検査

AST	肝機能の指標。筋、心疾患などでも上昇する。
ALT	肝臓疾患で、高値になる。肝臓特異性が高い。
LDH	ほとんどの組織や臓器に分布する酵素。血液疾患、心疾患、肝障害、悪性腫瘍などで上昇する。
ALP	肝・胆道系疾患、骨疾患などで上昇。 胆汁うっ滞で上昇。
γ -GTP	肝・胆道系障害を調べる検査。飲酒習慣でも上昇する。胆汁うっ滞で上昇。
T-Bil	黄疸の程度を見る。肝・胆道系疾患で上昇。

膵臓

AMY 主に膵臓や唾液腺から分泌される消化酵素。
急性・慢性膵炎や耳下腺炎で上昇。

蛋白

TP 血液中の蛋白の総量
栄養状態や肝・腎機能が悪いと低下する。

ALB 肝臓で合成される蛋白質
肝障害の程度を反映して低下する。

腎機能

BUN/CRE 腎機能障害の程度をみる。腎機能の低下で上昇。BUNは脱水、心不全で上昇する。

UA 痛風や腎機能低下で高くなる。

電解質

Na/Cl 水分の代謝異常や体液のバランスをみる。
腎不全、心不全などで低値、脱水や下痢では高値となる。

K 腎不全、細胞の崩壊で上昇

心臓関連

CK(CPK) 心筋や骨格筋などの組織・細胞の障害を反映。
心筋梗塞などで上昇

トロポニン-T 心筋繊維に含まれる蛋白
急性心筋梗塞発症時に上昇

BNP 心臓で合成・分泌される。
心不全の病態把握・治療効果の判定有用

糖尿病関連

GLU 血中のブドウ糖を示す。食事に影響される

HbA1c 過去の平均的な血糖値を表す(2か月～3ヵ月)
長期血糖のコントロールの指標

脂質関連

T-CHO

血中コレステロールの総量
高値では動脈硬化の危険因子となる

TG

高値では動脈硬化の危険因子
食事の影響を受ける(食後には上昇)

HDL-C

善玉コレステロール、抗動脈硬化作用がある
低値の場合、動脈硬化疾患の危険因子

LDL-C

悪玉コレステロール、動脈硬化の発症・進展に
関係あり。
動脈硬化性疾患の診断・経過観察や治療効果の
指標

炎症マーカー

CRP 炎症で上昇、回復とともに減少

赤血球沈降速度 炎症で上昇
(赤沈)

白血球数 炎症で増加
 細菌感染で増加、ウイルス感染では
 減少～不変

プロカルシトニン(PTC) 敗血症で増加

貧血検査

RBC 貧血、多血症の診断に用いる
(赤血球数)

Hb 赤血球中に含まれる(鉄が素材)
(ヘモグロビン)

Ht 血液中に占める血球の体積の割合を示す
(ヘマトクリット)

MCV 平均赤血球容積(赤血球1個の大きさ)

MCH 平均赤血球血色素量(赤血球1個のHb量)

網状赤血球数

尿一般検査

尿定性検査

比重 腎機能(尿濃縮力)の指標

PH 腎疾患、血液の酸・塩基平衡状態、結石、蛋白尿などの変化をみる指標

蛋白 腎疾患の指標

糖 高血糖状態、腎機能の指標

ケトン体 糖代謝異常時尿中に出現、飢餓状態など

潜血 腎尿路系の炎症時に出現

ウロビリノーゲン・ビリルビン 肝・胆道疾患で出現

一般的な腫瘍マーカー

CEA(ガン胎児性抗原) 消化器

AFP(α -フエト蛋白) 肝細胞癌

CA19-9 膵癌、胆道癌等、消化器癌

CA125 卵巣癌等

PSA 前立腺癌(前立腺肥大でも上昇)